

# 令和7年度 学校評価

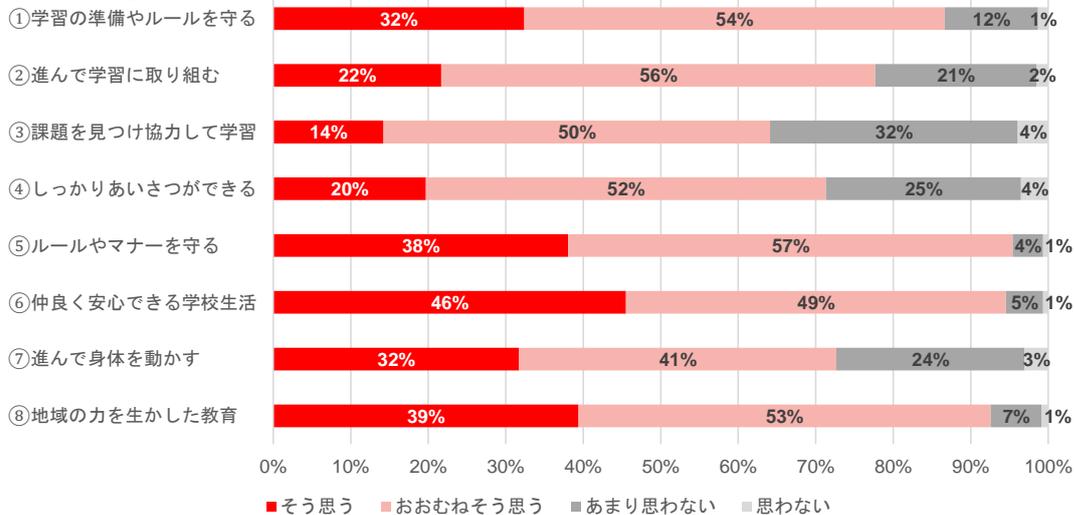
## ■保護者アンケート

### ■項目

1. お子さんは、学習準備を整え、学習規律を守って勉強をしている。
2. お子さんは、進んで学習に取り組み、自分の考えをもつことができている。
3. お子さんは、自ら課題を見付け、協力してその課題解決を図ろうとしている。
4. お子さんは、友達や先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できている。
5. お子さんは、マナーやモラル、ルールを守って行動することができる。
6. お子さんは、友だちと仲良く過ごし、安心して学校生活を送っている。
7. お子さんは、学校生活や放課後、休日も含め、進んで体を動かしている。
8. 学校は、ボランティアや地域の皆さんの力を活かした教育を行おうとしている。

\*グラフの数値は四捨五入されています。

### ■アンケート結果



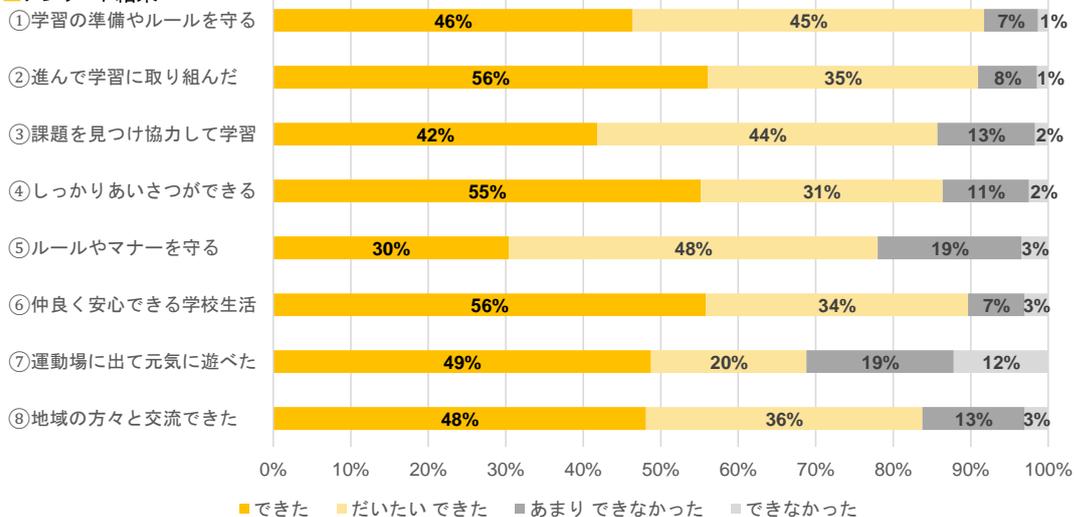
## ■児童アンケート

### ■項目

1. 学習の準備(じゅんび)を整え、学習ルールを守って勉強できましたか。
2. 進んで学習に取り組み、ノートに書いたり、タブレットを使ったりして、自分の考えをもつことができましたか。
3. 身近なところから課題を見付け、自分なりに考えをもち、協力してその解決を目指すことができましたか。
4. 先生や友達、地域の人に自分から進んであいさつできましたか。
5. ろう下を走らないなど、学校のルールを守ったり、ていねいな言葉をつかうなどマナーを守ったりできましたか。
6. みんなから大切にされ、安心して学校生活を送ることができましたか。
7. 朝や20分休み、昼休みは、運動場に出て、元気に遊んでいますか。
8. 地域の方に教えてもらったり、いっしょに活動したりして、しっかり学習できましたか。

\*グラフの数値は四捨五入されています。

### ■アンケート結果



## ■教職員自己評価【前期】

### ■項目

質問1 学習準備を整えさせ、学習規律を守るよう指導することができている。

質問2 学習意欲を高める工夫をし、自分の考えをもたせたり、話し合い活動をさせたりして、コミュニケーション力を育てている。

質問3 SDGs学習やESD等、主体的・対話的で深い学びになるような問題解決的な学習に取り組んでいる。

質問4 友達や先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できるよう指導している。

質問5 マナーやモラル、ルールを守って行動することで安心して学校生活が送れるように指導している。

質問6 安心して学校生活が送れるよう、人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを進めている。

質問7 業間や業前の遊びや体育の授業を通して、進んで体を動かすよう指導している。

質問8 子どもの学習理解を深めるため、地域に住む方の協力を得るなど、地域との連携を図っている。

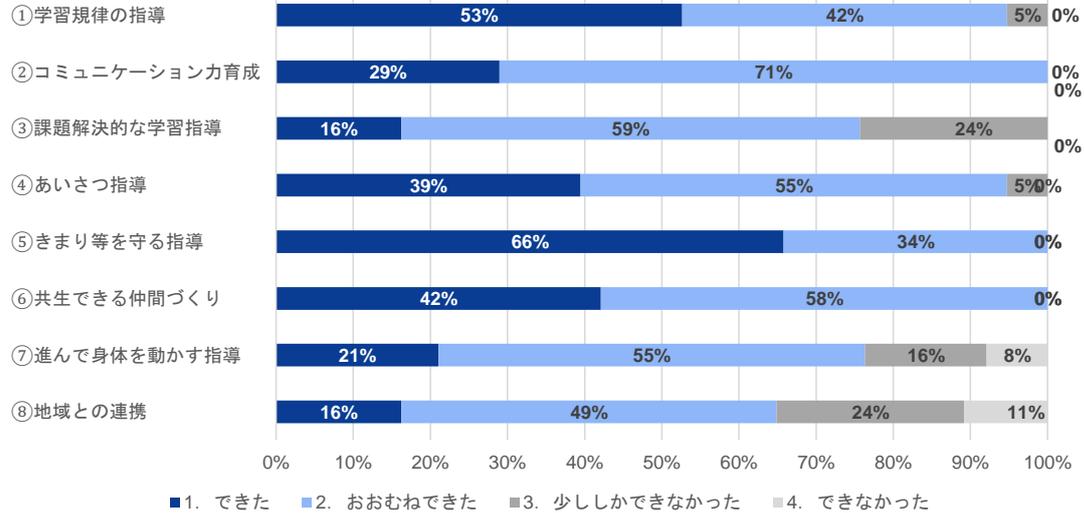
質問9 子どもがICT機器を活用する授業を積極的に行っている。

質問10 本に触れる機会をつくり、感性を磨き、創造力を育成する読書指導をしている。

質問11 書くことを基に、自分の考えを表現できる指導に、積極的に取り組んでいる。

\*グラフの数値は四捨五入されています。

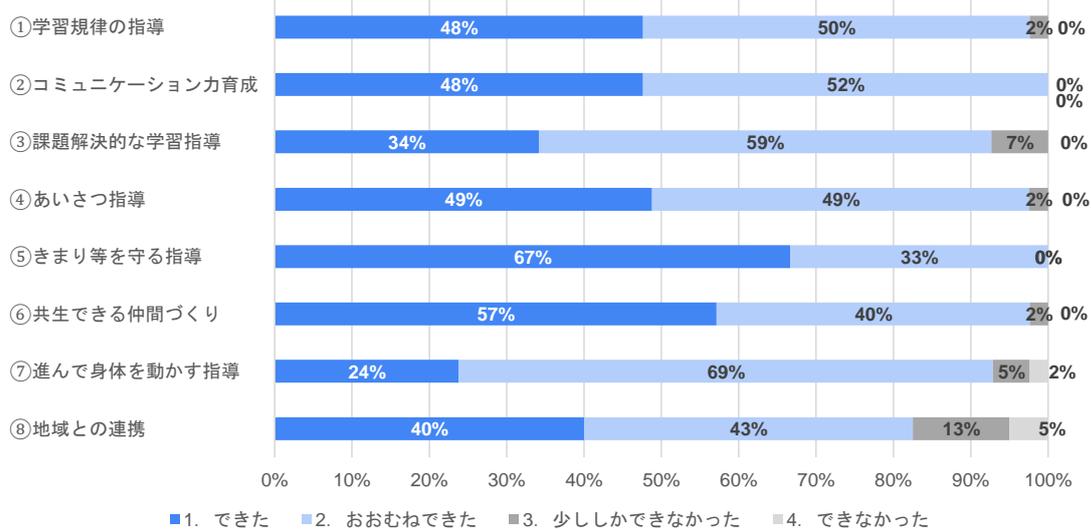
### ■アンケート結果



## ■教職員自己評価【後期】

\*グラフの数値は四捨五入されています。

### ■アンケート結果



## ■総評

昨年12月に実施しました「学校評価アンケート」について、集計結果及び考察について、児童アンケート、教職員自己評価とともに示させていただきます。

昨年度より、保護者の皆様のアンケートでは、「(学校の)子どもは…」という尋ね方ではなく、「お子さんは…」という尋ね方に改めています。そのため学校全体的な印象ではなく、保護者の方々は、ご自身のお子さまをご覧になられての評価になっています。その中で保護者の皆様の評価は、8項目中4項目で「思う」「おおむね思う」が8割を超える評価をいただき、いただいたご意見も、肯定的なものが多かったです。しかし、80%に到達していない項目も4つあり、今後の課題としての取組が必要だと感じています。

## ■各項目の評価

### ①学習規律

この項目に関しては、教職員アンケートの前期・後期からも、しっかりと指導を行っており、保護者86%・児童92%と、共に高い評価になっています。これは、年度当初に教職員で学習規律の重要性について確認を行い、どの学年でも共通した指導を心掛けたとともに、日々の教育活動の中で子どもたちがその大切さを意識できた成果だと考えます。これは学習の準備の際の、ご家庭での保護者の皆様のご尽力も大きいと思います。本年度も生駒市教育委員会、生駒小学校学校運営協議会委員をはじめ、多くの方々から「とても落ち着いて授業を受けていますね」とのお言葉をいただくことができました。

### ②学習意欲・コミュニケーション力

この項目に関しては、教職員100%・児童92%と高い評価になっていますが、保護者の皆様の評価は78%にとどまっています。日々の授業では、学年の発達段階に応じて、自分の考えを発表する、ノートやタブレットに記録する、友だちの意見を聞いて自分の意見をまとめるといった場面を多く見ることができます。とりわけ高学年では、ESD(持続可能な開発のための教育)の視点から、環境保全や防災教育、平和学習を通して学びを広げたり深めたりする活動が積極的に展開されており、この1年間で目を見張るほど子どもたちのコミュニケーション力が伸びたと感じます。子どもたちの成長を見ていただける「発信の場」をより多く創る必要性を感じました。

### ③課題解決的な学習

この項目では、教職員アンケート18ポイント上昇(75%→93%)しています。また、児童も86%と比較的高評価です。②の項目で書きましたように、ESDをはじめとして、様々な学習活動において課題解決学習に取り組んだことにより、教職員、児童ともに肯定的な意見が多かったのだと考えます。一方、昨年度よりも微増しましたが、保護者の皆様の評価は64%です。ここでも、課題解決的な学習をがんばっている子どもたちの姿を伝えきれていなかった点が反省点です。これまでの教育活動を充実させるとともに、子どもたち自身が自ら課題を設定して取り組む教育活動に一層取り組み、情報発信していきたいと思えます。

### ④あいさつ

教職員においては後期で98%と、しっかりと指導していると評価しています。また、児童においても86%で、自ら進んで挨拶できている子が多いです。しかし、保護者の皆様の評価は、62%で昨年度よりも若干低下しています。しかしながら、朝の通学路を歩いていると、挨拶してくれる子がとても多いです。ただ、自分から進んで挨拶をするのはちょっと恥ずかしそうにしてる子どもが多いのも確かです。子どもたちが進んで挨拶できるよう、我々大人も、雰囲気作りをすることが大切であると思えます。毎朝見守り活動をしてくださっているボランティアの方々は、笑顔で子どもたちを迎えてくれています。今後も、多くの子どもたちが、毎日気持ちよく挨拶できるようになるために、まずは、「見守りの人にあいさつしようね。」と、ご家庭でもお声掛けをお願いします。

### ⑤ルールやマナーを守る(決まり等の遵守)

この項目は教職員で100%、保護者の皆様が95%以上と非常に高い評価です。その一方で、子どもたちの評価は78%と、子どもたち自身が自らをやや厳しめに評価しています。学校全体として、子どもたちは決まり等を守り、落ち着いて学校生活を送っています。例えば職員室の出

入りでは、どの子ども「失礼します。〇年〇組の□□です。」など、決まりを守ってきちんと職員室を訪れます。また、掃除の時間に本校を訪れたお客様が、子どもたちが熱心に廊下のふき掃除をしている姿を見て感心してくださることもありました。決まりや自分たちの役割を果たすことができる子どもたちがたくさんいます。しかし、つい廊下を走ってしまった、友だち同士での言葉遣いが丁寧でなかったなど、自身の行動をしっかりと振り返ろうとする意識が現れたのだと思います。廊下歩行などについては、委員会の子どもたちが呼びかけ活動をしてきていますし、教職員も統一した指導を行っています。また「言葉遣い」についても、相手の立場に立った言動について、引き続き指導するだけでなく、子どもたちと共に考えていきたいと思っています。

#### ⑥仲良く安心できる学校生活(仲間づくり、安心して登校)

この項目に関しては、教職員、保護者、児童ともに90%以上と、いずれも高評価を得ている項目です。安心して過ごせる学級づくり・仲間集団づくりや、何らかのトラブルが起こっても迅速に対応する教職員集団、そして何よりも保護者の皆様のきめ細かなご支援などの効果があったのではないかと考えます。本校では毎年「ありがとうの木」で友だちをはじめ周囲の人に感謝の気持ちを伝える活動を行っており、本校の伝統的な取組になってきました。小さな木の葉の形のカードに感謝の言葉を書いて木に貼り付けていきます。しばらくすると木の葉でいっぱいになります。そして、足を止めてメッセージを一枚ずつ読んでいる子どもたちの姿をしばしば見ることができます。これはほんの一例ではありますが、地道な取組を次年度も引き続き行い、安心できる学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

#### ⑦進んで身体を動かす(運動場に出て元気に遊ぶ)

この項目に関しては、教職員の80%強が意識して指導したと考えている一方で、保護者の皆様が63%、児童においても68%と低評価になっており、毎年同じような傾向になっています。休み時間になると、運動場や小運動場でボール遊びをしたり、鬼ごっこや縄跳びなどをしたりして多くの子どもたちが外遊びをしています。中には日を決めて、外でクラスのみんなど遊ぶ学級もあります。さらに委員会活動で外遊びを企画する取組も頻繁に行われています。今後もこのような取組を継続するとともに、教職員が体づくりの研修を行い、子どもたちの体力づくりの充実を図るとともに、よりよい授業を通して運動好きな子どもたちを育てたいと思います。

#### ⑧地域力を生かした教育(地域との連携)

本校では、各学年で地域の方々や外部団体等を招いての学習が多く、教職員の評価は前期・後期ともに90%を超えています。保護者の皆様の評価も92%と高い評価になっています。児童は84%とやや低くなるものの、いずれも高評価でした。特に二学期は生活科や総合的な学習の時間などで地域の皆様はじめ学校外の方々との交流が多くなる時期です。そういったことがこの評価につながったのだと思います。子どもたちからの話や、学校からの情報発信に触れてくださった結果が保護者の皆様の高評価につながったのではないかと考えます。保護者アンケートの自由回答欄に、地域の方々への感謝の言葉を記入してくださった方が複数いらっしゃって、大変うれしく思いました。ESDの視点での地域学習、地域の方との連携も一層進んでいます。今後も地域の方のサポートをいただきながら、充実した教育活動を進めていきたいと思っています。合わせて、地域のために学校ができることを模索する必要を感じています。

#### ■終わりに

今回、3年生以上の子どもたちには「どんなことをがんばりたいですか」「どんな学校にしたいですか」という自由記述欄を設けました。すると、「勉強を頑張りたい」「たくさん友達をつくる」「タブレットを使って、自分の考えをまとめようと思います。」「自分の身近なところから課題を見つけてそれを学校で深めるようなことをしてみたい」「思いやりができる、親切で元気いっぱいな学校にしたい」…など、たくさんの前向きな言葉を記入してくれました。また、保護者皆様からも、多くの感謝の言葉をいただきました。大変ありがたく感じるとともに、さらに気を引き締めて教育活動に取り組まなければならないと感じました。また、保護者の皆様から頂いたご意見対しては、可能な限り多くの面での改善を図って参ります。今後も子どもたちのために、より良い教育活動の充実を進めていきたいと思っています。

以上、簡単ではありますが学校評価についての考察とさせていただきます。貴重なご意見、ありがとうございました。